

介護セミナー

— 認知症をサポートする —

〈実施報告〉

日時：2026年2月4日(水) 13:00-14:30

講師：キャラバン・メイト 新開 正義氏

キャラバン・メイト 元木 章代氏

キャラバン・メイト 森永 智光氏

(高松市地域包括支援センター)

参加人数：151名 (学生143名・教職員8名)



2月4日(水)、「介護セミナー — 認知症をサポートする —」を415講義室(幸町キャンパス北4号館1階)で、本学教育学部との共催で実施しました。

認知症サポーター養成講座キャラバン・メイト新開正義氏、元木章代氏、森永智光氏をお招きし、ご講演いただきました。

初めに、認知症の主な症状・予防策などをご説明いただき、ご近所の方とゴミ捨て場で出会う場面の寸劇を通して、認知症の方への対応はどうすればより適切になるのかを考えました。さらに、認知症当事者とその家族からのメッセージをDVDで視聴し、当事者とその家族の声に耳を傾けました。



最後に、認知症の方と接するときの心がまえ、認知症の方と家族への支援、高松市の取り組み、受診・相談窓口などをお話いただきました。



アンケートには、「周りの人や介護の方の接し方によって、認知症の患者さんの症状や気持ちが大きく変わることを知り、周りの人のサポート方法をしっかりと見直す必要があると感じた。患者本人だけの話でなく、周りの環境が大きく影響を与えるイメージが変わった。」「忘れてしまうという抽象的な考えだけを持っていたが、「認知症の人は覚えている

1分1秒をつなげて懸命に生きている」という言葉がとても印象に残っており、まだまだ理解が足りていないことを自覚しました。」といった感想が寄せられました。